

示し方が変わった。

- (組合) 繁閑の業務量はどのように設定される。どのように認識すればよいか。
- (会社) 年間を通した業務量の平均。あくまでも目安。様々な場合に対応していく。
- (組合) どのようにコンスタントに要員を配置していくのか。
- (会社) 年間を通して要員確保していく。
- (組合) 必要な要員が見えなくなる。
- (会社) 必要な要員を確保することには変わりはない。企画業務等働き方が柔軟になっていくことに踏まえて示し方も変わっていく。具体的には示せない。
- (組合) 企画業務は出面数に入るのか。
- (会社) 作業ダイヤの中に企画業務はあり得る。出面数が変われば提案する。
- (組合) 乗務職場での企画業務は出面数にカウントしていくのか。
- (会社) 具体的に示せない。
- (組合) 示されている出面数の中に企画業務が入るのか。プラスとなるのか。
- (会社) 企画業務の拡大に関して出面数が変わった場合は示す。あくまでもケースバイケース増減はある。年間の平均で見ると増える場合もある。職場により増減がある。
- (組合) 業務量の増減はどのように考えればよいか。
- (会社) 要員の管理は会社が行う。乗務員の場合の増減はほぼ無い波動ぐらい。
- (組合) **出面数が出た中で必要な要員は変わらない。今までの標準数の考え方と変わらないのでは。示し方を**
変更した理由が分からない。
- (会社) 今までは職場ごとで決めていた。これからは兼務や連携がある。要員の数で示すことが厳しい。
- (組合) 休日出勤が多く疲弊している。要員を確保する方法は。
- (会社) 方法は様々。必要な要員は確保していく。

業務量が明確なのに何故必要な要員を示さないのか？

3. 「乗務員の業務等の見直しについて」各項目における考え方を具体的に示すとともに、乗務準備に必要な時間の内訳を明らかにすること。また「その他、労働時間について必要に応じて算定を行います」とあるが、具体的な内容を明らかにすること。

回答: 安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直しを行うものである。なお、必要な労働時間は確保していく考えであるが、労働時間の内訳についてはこれまでどおり示す考えはない。

- (組合) 詳細については。
- (会社) お客さまの利便性と乗務員の働きやすさの向上を見直す。睡眠時間の確保や乗務員の拘束時間短縮等働きやすさを向上に繋がると考えている。
- (組合) 3分前出場の見直しに関して、安全の維持向上は。
- (会社) 3分前出場の目的が不明確であった。準備をして発車時刻までに行ってもらう。安全が損なわれるとは考えていない。
- (組合) 見直されるが必要な作業時間は付けていくのか。具体的には。
- (会社) 徒歩時間はこれまで通りでお客さま案内を加味した時間が含まれている。
- (組合) 列車が到着すると前面等を確認するが、時間は徒歩時間に含まれているのか。
- (会社) 内訳はこれまでも示していない。必要な時間は付けている。
- (組合) 3分前で行っていた業務があるが3分を削るのか。
- (会社) これまで行っていた確認業務等は変わらない。3分が0分になるわけではない。
- (組合) 必要な作業についてどれ位の時間が付くのか。
- (会社) 徒歩時間を含めてトータルで見直している。詳しいことは示せない。
- (組合) 示せない理由は。
- (会社) 内訳はこれまでも示していない。示し方を変える考えは現時点ではない。必要な時間があるので会社